

ステークホルダーエンゲージメント方針

KDDI の事業は、お客さま、株主さま、お取引先さま、従業員とその家族、地域社会などのステークホルダーの皆さまと関わりを持っており重要性を認識しています。

当社はステークホルダーを特定し、皆さまのご意見・ご要望を経営に取り込み改善するための指針として、この「ステークホルダーエンゲージメント方針」を策定しました。

目的

支えてくださるすべてのステークホルダーの皆さまとの対話を尊重し、ステークホルダーの皆さまとの共創を積み重ね、協力的な関係を築くことにより、社会的課題に積極的に取り組み、豊かなコミュニケーション社会の発展に貢献していくことです。

適用範囲

本方針は KDDI グループに適用されるものであり、またサプライチェーンなどに対しても方針を遵守するよう求めます。

ステークホルダー特定プロセス

当社の通信を核とした多様な事業を通じて、経済価値に加え社会価値及び環境価値を向上させることで、企業と社会の持続的成長を両立するという観点から、「サービスご利用者」「株主/投資家」「地域社会」「NPO/NGO」「行政機関/業界団体」「お取引先（サプライヤー）」「従業員/家族」の7つをステークホルダーと特定しています。

また社内外の環境変化に応じて重要なステークホルダーの見直しを実施しています。特定プロセスは以下の通り。

- 1.KDDI グループの事業に関わる全てのステークホルダーの洗い出し確認
- 2.ステークホルダーのカテゴリー分け
- 3.KDDI グループの持続的な成長を目指す上での当社事業活動への影響度などを踏まえ、重要なステークホルダーを特定する

さらに、質の高いステークホルダーエンゲージメントを実現するため、以下の項目を確認し、優先順位付けを行っています。

影響力	会社の業績・目標達成に対して影響を与える可能性のあるステークホルダー
依存度	事業活動や製品・サービス等に対して依存関係にあるステークホルダー
責任	法令、契約、行動規範により組織の経済的、法的、経営上の責任がある 今後責任があると予想されるステークホルダー
脆弱性	年齢、性別、地域社会での地位、その他の理由により脆弱なステークホルダー

サービスご利用者

信頼に応え、安心・安全で価値ある商品・サービスを提供し、ご満足（お客さま体験価値）を追求します。

株主／投資家

誠実かつ公正な情報開示と、積極的なコミュニケーションにより、信頼関係の構築を図ります。

地域社会

ダイアログや事業協力を通じて、戦略的な意思決定を行う際に、地域社会の方が抱える懸念の理解に努めます。また連携・協調を図り、地域社会の一員としての役割を果たします。

NPO/NGO

対話と協働を通じ、より良い社会づくりに貢献します。

行政機関／業界団体

法令を守り、健全な関係を保ちます。

お取引先（サプライヤー）

相互の信頼に基づくパートナーシップを構築し、公平・公正な取引を通じて、適正な事業活動を行います。

従業員／家族

すべての従業員が働きがいを持てる、活力のある企業であり続けます。

ステークホルダーエンゲージメントに関する問い合わせ先

ステークホルダーの皆様が懸念事項を報告するために、当社に直接連絡を取ることができます。

サステナビリティ経営推進本部 サステナビリティ推進部
engagement-inquiry@kddi.com

本方針は代表取締役社長により承認され、今後もステークホルダーに対する取り組みをより強化するため、定期的に見直し、改善していきます。